



秋感じる！さわやか駅伝



第11回とうべつさわやか駅伝(実行委員会主催)が当別駅前大通周辺で行われ、小学生からシニアまでの7部門に82チーム計440人が参加。途中、小雨に見舞われましたが、出場者は約1.5kmのコースを一人一周ずつ走り、仲間へたすきをつなぎました。特別参加した札幌大学陸上部の選手5人は力強い走りを見せ、沿道の観客は声援を送っていました。

(9月29日)

大盛況！自衛隊演奏会



陸上自衛隊北部方面音楽隊による演奏会が総合体育館で行われ、約420人が来場し、迫力のある演奏を楽しみました。ロマネスクなどの吹奏楽曲、歌謡曲やアニメソングなど幅広いジャンルの楽曲が演奏され、中でもNHK「みんなのうた」でおなじみの「パプリカ」が歌とダンス付きで演奏された時には、飛び跳ねて喜ぶ子どももいました。2児を連れて来場した男性は「子どもたちは自衛隊の活動を普段あまり見かけることはないが、この演奏会で自衛隊を身近に感じてくれたと思う」と話していました。

(10月5日)

五輪メダリスト有森さんが講演



日本体育大学連携事業・当別町スポーツ協会創立60周年記念として、元マラソン選手の有森裕子さんが来町し、ゆとろで講演しました。「すべてを力に」というテーマで、五輪メダリストという輝かしい経歴の裏には数多くの困難や挫折があったことなどを語っていただきました。将来プロサッカー選手になることが夢という小田島虎侍朗君は講演を聞いて、「競技は違うけれど、最初はできなくても、あきらめずに続ければ夢がかなうことがわかった。明日からの練習をがんばりたい」と話してくれました。

(10月6日)

広告

広告

広告

広告

夢のコラボレーション!?



札幌市北区の百合が原公園で行われた「ぽっぴいフェスティバル」にとべのすけが参加し、北区のまちづくりキャラクター「ぽっぴい」と共演しました。当別町と北区は亜麻を通じて、平成21年から連携事業を行っています。とべのすけは自分の絵が入った風船を来場者に配りながら、当別町をしっかりとアピール。防災に関するO×クイズにも参加して、参加者と一緒に緊急時の正しい行動の仕方を学びました。園内を走るリリートレインをお見送りするなど、イベントを盛り上げていました。

(10月12日)

再生可能エネルギーの研究協力!



当別町と北海道立総合研究機構は、地域の特性に応じた再生可能エネルギーの活用と省エネルギー技術の普及拡大を目指すため、連携協定を締結しました。研究期間は2024年3月31日までで、当別町での木質バイオマスの利用拡大やエネルギーネットワークシステムの構築に向けた研究に取り組みます。また、当別町では、2020年に西当別小・西当別中へ木質チップボイラ導入を予定するなど、再生可能エネルギーの活用を進めており、本協定によりさらなる再生可能エネルギーの導入拡大が期待されます。(10月16日)



広告

広告

広告

広告